

考えてみっぺ、村の学校

～今年の飯館村の教育～ 第22回



Q 村の子どもたちの学力や学習状況を教えてください

A 毎年の全国的な学力や学習状況の調査で、子どもたちの生活習慣や学力の現状を見ることができます！

今、飯館村では「テレビやDVDを見る時間」「スマートフォンやコンピューターゲームをする時間」が長いことが問題となっています。村では、メディア（携帯など）を使うルールを決める「メディア・コントロール運動」を進めています。保護者や家族が、我が子にメディアを与えっ放し、任せっ放しにしないようにしましょう。

また、今最も心配されているのは、スマホを使う時間が極度に長いスマホ依存症です。今年の調査で、「普段、一日にどのくらいの時間、携帯電話やスマホで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマホを使ってゲームをする時間を除く）」と子どもたちに尋ねると、4時間以上と答えた村の小学6年生が2.8%、中学3年生が18.8%でした。

全国学力・学習状況調査の結果（平成27年度） ※全国平均を100とすると

対象	教科	福島県	飯館村
小学6年生	国語 A	100	98
	国語 B	100	98
	算数 A	99	95
	算数 B	99	94
中学3年生	理科	100	97
	国語 A	99	97
	国語 B	99	98
	数学 A	98	96
中学3年生	数学 B	98	95
	理科	99	98

テレビ・DVD、PC・ゲームの時間 (%) ※PC：パソコン

		今年	昨年	一昨年
2時間以上テレビやDVDを見る	小6	55.6	80.0	78.9
	中3	78.2	73.6	65.0
2時間以上PCやゲームをする	小6	27.8	36.7	23.7
	中3	28.2	41.1	35.0

携帯、スマートフォンでの通話、メール、インターネットの時間 (%)

		0～2h	2～4h	4h超
小6	26年度	89.9	10.0	0.0
	27年度	91.6	5.6	2.8
中3	26年度	44.1	32.4	20.6
	27年度	62.6	18.8	18.8

「メディア・コントロール運動」は、メール漬け・ゲーム漬け・昼夜逆転から子どもを守り、スマホによる犯罪を防ぐための取り組みです。

幸せを感じる時

飯館村教育委員会 学校教育指導員 海野 和夫

幸せとは、心が満ち足りた状態にあってうれしさやよろこびを感じる時を意味します。幸せらしきことは、多くの場合、自分の願いが叶ったときに感じます。試験に合格する、けんかや競争に勝つ、お金が入る、名誉や地位を得る、出る杭を打つ、などがその例です。でも、これらは本当の幸せではないような気がします。ある一瞬感じる幸せか、気持ちが曲がった人たちが感じる幸せのように思います。私たちは誰でもどこかに欠点をもっています。大抵の人はそれに気づいて何とかしたいと思いつつ、修正の努力をします。でもなかなかです。修正できるのは、身近な人たちが、その人の欠点を意に介さず、その人の人柄を、していること。はつきりと認めることがあるときです。その結果、欠点はどこかに消え去ります。このときの満ち足りたうれしさは格別です。飯館村の人たちが、最も身近なわが子のように気づき、それを言葉にし続けることを祈ります。それがわが家に笑顔の交換を引き起こし、わが子も親自身も心の底から幸せを感じます。わが子の、家族の、近くの人たちのよさに気づき、それを素直に表現しますと、自分に幸せが近づいてきます。幸せな生き方の秘訣です。

教育相談の申し込み 飯館中学校教頭まで
☎024-573-1161



▲ターンや滑り方のコツを学びました！



▲地元・北塩原村の子どもたちとスキー交流

白銀の世界に飛び出そう

北塩原村で雪遊び体験

1月17日、北塩原村から招待を受け、村の小中学生16人が裏磐梯スキー場でスキー・スノーボードを体験しました。北塩原村からの招待は、今年で3回目です。

参加した子どもたちは、朝7時に村役場飯野出張所を出発。スキー場に到着すると、同村の鈴木力雄教育長から「今日は1日、冬の裏磐梯を、体を目いっぱい使って満喫してください」と歓迎のあいさつを受けました。その後、午前中にインストラクターによるスキー・スノーボード教室、午後からは地元の子どもたちと一緒に雪上の交流を楽しみました。

今回、初めてスキーに挑戦した三本松博文くん（飯館小4年）は「初めはうまくできなかったけど、教えてもらったことが少しずつできるようになるのが楽しかったです」と冬の体験を笑顔で振り返りました。



▲最優秀賞受賞の多田さん

読書のススメ！ お気に入りの一冊を紹介

第16回読書メッセージ 結果発表

村教育委員会は、自分の好きな本を推薦する第16回読書メッセージコンテストを開催し、66通の応募がありました。最優秀賞には、多田梨乃さん（相農飯館校2年）が書いた「モタさんの『言葉』」の読書メッセージが選ばれました。（以下、多田さん推薦メッセージより）

「この本は私達が大人になったときに陥るかも知れない人生をプラス思考にもっていき、生きる勇気・感動を与えてくれます」

推薦された図書は「こあら号」で貸し出し中です！

- #### 読書メッセージ審査結果
- 〔最優秀賞〕 多田 梨乃（相農飯館校2年）
 - 〔優秀賞〕 「西の魔女が死んだ」 寺島 千尋（飯館中2年）
 - 「フランス人は10着しか服を持たない」 渡邊 成美（相農飯館校3年）
 - 「ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ 原子力を受け入れた日本」 北原 康子（一般）
 - 〔JPIC賞〕 「奇跡のリンゴ」 細杉 睦輝（飯館中3年）
 - 「君の臍臓をたべたい」 齋藤 琴音（飯館中2年）
 - 「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話」 木幡 菜々花（相農飯館校1年）
 - 「少女七竈と七人の可愛そうな大人」 長澤 月（相農飯館校2年）
 - 「生まれたのは自閉症くん。」 杉浦 由実（一般）